



まるぐち ニュース

December

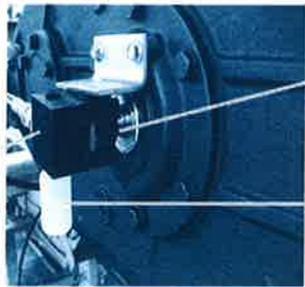


丸 第15号
平成23年12月1日

クレーンニュース

ロータリージョイント（ウインチクラッチ用）の定期点検について

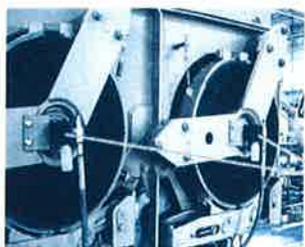
《点検項目》 ①点検で異常が確認された場合は（2年以内でも）交換して下さい。



油切れが早いこと
（取付ネジ部と回転部）
締付けトルクが十分なこと
49.0 N・m
（5kgf・m）

シャフトのカタが
無いこと
異音の発生が
無いこと

タンク内の作動油の量
給量が多い場合は交換



ロータリージョイント

ロータリージョイント（ウインチクラッチ用）が損傷するとクラッチ圧を保持できなくなり、クレーン作業中に吊り荷の落下事故につながる可能性があります。定期点検（始業前点検、月次点検、年次点検）を行い、2年毎にロータリージョイント（ウインチクラッチ用）の交換を実施して下さい。

担当 中島



車検ニュース

ディスクブレーキの特徴と種類



〈スパイラル型フィン〉



〈ピラー型フィン〉



〈穴あきローター〉



ディスクブレーキは、ディスクローターの回転によって空気が内側から外側にはね飛ばされ、冷却効果を生じます。これにより20～30%温度上昇が抑えられると言われています。

冷却効果は内部のフィン形状によっても変化するので、回転方向の速度成分を減じることで空気の流れを整えるスパイラルフィンや、ピラー形状のフィンが工夫されています。

また、ローター面に小穴を開けることも冷却性能の向上に効果がありますが、割れにつながるがあるので注意が必要です。

ローター温度の低下は、パッドの温度上昇を抑えるので、パッドの磨耗を抑制する効果もあります。

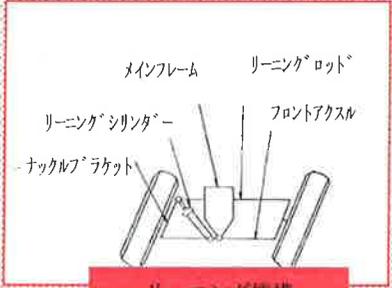
また、冷却性の良さに他に、ディスクブレーキは高速でも路力に比例した安定した制動力を得ることができます。

担当 藤森

建機ニュース

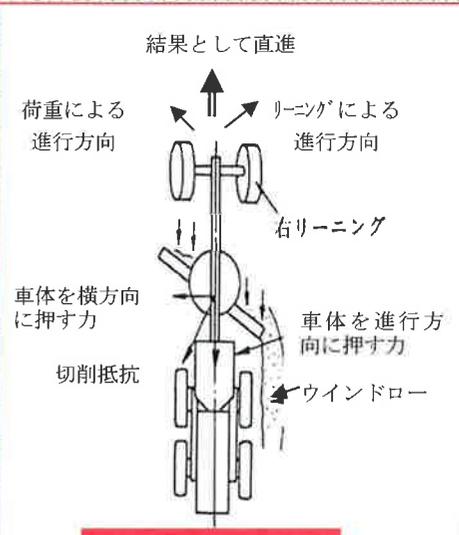
重機の仕組み『モーターグレーダーの操縦』

モーターグレーダーの操縦は、一般自動車と同様にハンドルで前輪の向きを変えることによって行われます。従来はハンドルによって直接に操縦する機械的に油圧倍力装置を付けたものが主流でしたが、現在では全油圧式の操縦装置が一般的になっています。また、最近ではアーティキュレートフレーム式（車体屈折式）のものが多く、前輪の操向と併用して回転半径を小さくできます。なお、モーター・グレーダーにはリーニング機構という独特の機構があります。通常、モーター・グレーダーではブレードを斜めにして作業するので、前輪には常時、横方向に押す力が発生します。また、旋回時にも、ホイールベースが長い為、前輪が外側にふくらむ方向に横に押す力が発生します。リーニングは、これらの方に対抗して効率よく直進あるいは旋回できるように前輪を左右に倒す機構のことです。



リーニング機構

担当 若林



リーニングの作用

編集後記

今年も残りわずか...!

忘年会

飲み過ぎ注意!

Xmas 大掃除

クリスマスのは大掃除が待ってます!

風邪など引かぬように新年を迎えてください!
一年間大変お世話になりました。
来年もよろしくお願致します。

担当 八木